

「ドロップレット・マードーズ 紹介文」

岡和田晃

『エクリップス・フェイズ』日本語版翻訳監修者の朱鷺田祐介による新作『エクリップス・フェイズ』小説、「ドロップレット・マードーズ」をお届けしたい。

朱鷺田祐介のユーモアSF、ヘランデイ・シーゲルシリーズは、これまで5作発表されている。「ミートハブ・マードーズ あるいは、肉でいっばいの宇宙(そら)」、「ウイップラッシュ・マードーズ 殺人鬼はどこにいる?」、「リメンブランクス・マードーズ」最後の酒杯」、「品川蕎麦殺人事件(シナガワ・ソバ・マードーズ)」、「スカイ・アーク・マードーズ」。

これらの作品がお気に召した方は、宮内悠介『スペース金融道』やダグラス・アダムズ『銀河ヒッチハイクガイド』といったユーモアSFに進んでみるのも一興だ。

今作の舞台は海洋惑星ドロップレット。太陽系外に位置する惑星のだけど、環境的

2には居住可能で、現住生物や古代の遺跡、失われた文明も存在しており、冒険の舞台にピッタリ。

実際、本作が公開されるのとちょうど同時期に、「RoI&RoII」Vol.150には、朱鷺田祐介が執筆した「海洋惑星ドロップレットの危機」という『エクリプス・フェイズ』の入門用ゲーム・シナリオが掲載される。

それにあわせ、「RoI&RoII」公式サイト[のサポート・ページ](#)には、サポート・マテリアルとして海洋惑星ドロップレットの設定の抄訳も公開される予定なので、あわせてアクセスしてほしい。

朱鷺田祐介は、日本SF大賞のスポンサーもつとめる書評SNS「シミルボン」に参加、[「トランスヒューマンSFTRPG『エクリプス・フェイズ』を楽しむためのブックガイド」](#)を寄稿している。